

やまがた 議会だより

平成25年1月

No. 103

発行 〒390-1301 長野県山形村議会（代表 上條光明）
編集 議会広報編集特別委員会 TEL0263-98-3111 FAX0263-98-3078



新そば祭り(鉢盛中ブラスバンド)

平成24年 第4回 議会定例会

■第4回議会定例会	2	■キャッチボール	7
■主な議案	2	■区長時代の思い出	8
■委員会活動報告	3	■議会日誌	8
■一般質問	3		

平成24年 第4回議会定例会

子育て支援センター 今春着工!

平成24年第4回議会定例会は、12月5日から20日迄の16日間の会期で開催された。主な日程は、山形村税条例の一部を改正する条例をはじめ陳情6件、専決処分1件、規約の変更2件、平成24年度一般会計補正予算、公共下水道事業特別会計補正予算、などが委員会審議を経て、原案どおり可決された。一般質問は6日11人が登壇し、村政全般について質問した。



子育て支援センター予定地

補正予算

〔一般会計〕(第4号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3百67万9千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ38億6千9百77万9千円とした。

〔公共下水道事業特別会計〕(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7百24万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4億1千9百39万3千円とした。

補正予算

(単位：千円)

	補正額	予算総額
一般会計	3,679	3,869,779
公共下水道事業特別会計	7,240	419,393
水道事業会計(収益的収入)	2,582	202,400
水道事業会計(収益的支出)	600	200,400

※水道事業会計は収益的収入及び支出のみ掲載

〔水道事業会計〕(第3号)

収益的収入で補正金額2百58万2千円を追加して2億2百40万円とし、収益的支出で60万円を追加して2億40万円とした。

陳情書

- 「私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情書」
- 「安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善大幅増員を求める陳情書」
- 「安心できる介護保険制度の実現を求める陳情書」
- 「国立医療と地域医療の充実に関する陳情書」
- 「生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める陳情書」

行政報告

阿部知事と市町村長の代表者が県の施策などをめぐり話し合う「県と市

専決処分

衆議院議員選挙にともなう歳入歳出予算補正(3百54万9千円)

村内各種団体との研修

- 林業委員会
- ・里山整備(搬出間伐)
- ・上竹田の実施状況視察
- ・猪等被害防止対策(上大池)現地説明
- 農業委員会・JA
- ・農業振興について
- 区三役会
- ・「野生鳥獣の生態と被害対策」受講
- (長野県農業試験場 菅沢 勉氏による講演)
- ・連絡班未加入に関するアンケート結果について意見交換



三団体



区三役との研修

福祉文教常任委員会 行政視察研修報告

★杉並第一小学校★
 昨年の11月21、22日、学校地域支援本部の先進地「杉並区立杉並第一小学校」と、小規模多機能施設の甲府市「ホームわかまつ」及び、韮崎市の指定管理を受けて運営している「子育て支援センター・ちびっこはうす」の行政視察を行いました。

文科省の「放課後子ども教室」の事業で、全国に先駆けてのモデル校となり9年目を迎えている。

★朝先生

毎週火曜日と金曜日は一時間目の始まる前の15分間を、地域の人々から選ばれたボランティアの「朝先生」が、担任に代わって先生を勤める。基本的に学習内容は担任が準備し、「朝先生」が実践する。

遅刻する子どもは減り、一時間目から落ち着いて授業が受けられる環境が構築されている。

総務産業常任委員会

10月18日、19日の両日行政視察をしました。初日は岐阜県加茂郡白川町を訪問。現在村は、向う10年先の村の姿を第5次総合計画として策定中です。これを踏まえ先進事例として白川町を訪ね、どの様に進めたかをお伺いした。

町の概要は地勢的には岐阜県中南部に位置し面積は約2百37km²で山林が約87%、可住地面積5%とほとんど山林で、木曾川水系飛騨川に集落が分散し産業は林業主体で特産品としては白川茶が知られている。

本村との比較では一般会計約62億円、人口9千七百人、予算



白川町にて

行政視察研修報告

規模は約2倍人口は千人程多く面積は約十倍となる。行政効率

は本村より厳しいと思われる。白河町の第5次総合計画策定は平成23年から32年の10年間は

り、地域ボランティアの輪も着実に広がってきている。強固な基盤づくりを進め、その輪が年々拡大することを期待したい。

★小規模多機能ホームわかまつ★

「いつまでも自分の家で、自分らしく暮らしたい」誰もが願うこの思いに込めるのが小規模多機能施設の特徴と思われる。山形村でも本年4月より施設が開所されるに当たり、施設運営、サービス内容等を実践現場からご教授いただく。

★韮崎市子育て支援センター★

山形村で建設検討中の「子育て支援センター」も概要が見え

で、最終年度人口は現在より少ない9千5百人としている。このことから、より少子高齢化が進むことを想定している。これは当然本村に於いても考えられることである。今からできるあらゆる対策をとることが必要だと思ふ。

視察にあたり当日は町から今井良博町長、議会から鈴木議長、議会事務局高木局長、役場から鈴木参事の出席を戴いた。感謝申し上げます。

翌19日富山市「地場もん屋総本店」に於いては地域おこし、産業振興について見学した。

広域防災センター体験型学習施設四季防災館は災害時を想定



地場もん屋



子育て支援センター ちびっこはうす

始め、村民の期待度も高い。韮崎市の指定管理者として運営している、この分野では20年以上の実績を誇るプロ集団「NPO法人子育て支援センターちびっこはうす」の運営システムを視察する。

した体験ができることで日頃から、どういった備えが必要かを考える有意義な視察となった。今回の視察を今後村の行政に反映していきたい。

そこが聞きたい 一般質問

12月議会定例会は6日に一般質問が行なわれ、村政全般に亘って11人が質問した。

村長 人事評価制度取組の進捗状況は平成22年度から試行している



上條光明 議員

Q 人事評価制度取組の進捗状況及び具体的内容は。

A 村長 地方分権改革による権限委譲や時代の流れによる多種多様な村民ニーズに因應するた

る職員を育成するため、人事評価制度を平成22年度から試行している。具体的な内容は、住民対応能力、自己開発能力、マネジメント力など8項目の評価内容に、まず職員本人が5段階で自己評価。これを所属課長が評価し本人と面談。そ

の後副村長に提出し各課長と面談、その年の人事評価終了。

Q 近隣市町村の取組状況は。

A 村長 松本地方事務所管内の市町村の取組は、国と全く同じ評価を行なっているのが塩尻市・生坂村。松本市や安曇野市など他市町村は、全職員に評価が及んでいなかったり、当村と同様試行中のところもある。

Q 実施に当たった問題点・障害は。

A 村長 評価は仕事の成果ではなく、態度や意欲といった抽象的な点にとどまっており、客観的な基準を設ける必要がある。

村の10年後の姿を問う

村長 少子化対策・子育て支援が重要な課題



三澤一男 議員

に少子高齢化対策、産業・農業・観光対策、コミュニティ対策について伺う。

A 村長 少子高齢化が確実に進行しているなか、新たに施行される子ども・子育て関連法に基づき地域・関連団体が一体となって、多面的な子育て支援施策を積極的に推進していかなければならない。高齢者支援は、

Q 村は、平成25年度から向こう10年間の第5次総合計画を策定中であるが、交付税に大きく係る人口を増やす事は重要だと考える。どのような施策を考えているか。特

住宅リフォーム事業について

村長 11月末現在78件。8百60万円を助成



小林武司 議員

Q 現在の状況はどうか。

A 村長 山形村住宅リフォーム事業の補助制度は、村内における緊急経済対策の一環として平成24年度の1年間限定で創設したものである。

増加が見込まれる中、医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスを一体化して提供していく「地域包括システム」を実現していく施策を実現していかなくてはならない。

「産業・農業・観光行政」は豊かな生活を実現するためには、産業の進歩は不可欠である。農業の村として特性に恵まれた立地条件、多彩な観光、交流資源をさらに生かし中核を担う農業の振興と観光交流機能を柱とした、活力の有る施策が求められる。

「コミュニティ対策」は生活様式価値観の変化を背景にコミュニティ意識の希薄化が進みつつある区、連絡班への未加入の増加が大きな問題とな

11月末現在での補助対象は78件。補助金の総額は8百60万円。申請のあった工事費の総額は8千6百万円に上り、補助金8百60万円に対して直接的に10・1倍の経済効果につながった計算だ。

っている。今後は将来に亘り持続可能な活動で支え合い助け合う地域づくりが行なわれる様な支援施策をしてゆかなければならない。

村長の残任期間も残り少なくなってきたがやり残したことで、次の村政に期待することを質問した。



休耕田利用中そば畑

Q 利用者や業者等の意見や要望はどうか。

A 村長 山形村住宅リフォーム事業の登録業者は、32件が登録している。業界から、24年度だけ

自転車の安全対策について

村長 「子ども自転車運転免許証」導入に前向きに進めて参りたい



宮沢 敏 議員

Q 先進の自治体で事故から守る安全対策として、正確な知識と交通ルールを学び安全意識を高めると共に大人になってからも基本が役立つという意味で「子ども自転車運転免許制度」を導入しているが、どう考えるか。

A 村長 自転車に乗り始める少学年を対象に「子ども自転車運転免許証」を交付して正しい知識を身につけることは効果のある制度で、導入については前向きに進めていきたい。

「子ども・子育て関連3法」の成立を受け、市町村が主体となって、幼児教育・保育・地域の子育て環境の充実を図ることが決まった。山形村としても子育て家庭のニーズが反映できるように、来年度から「地方版子ども・子育て会議」を設置したかどうか。

A 村長 山形村においても計画の策定に必要な組織の立ち上げが不可欠で子育て関係の当事者の意見を反映できる組織を設置したいと考えている。

の一過性に終らせず、25年度以降も計画的に実施してほしいとの声も聞いている。

この他に、遊休荒廃農地「耕作放棄地」の前途策について質問した。

障害者福祉計画期間に

おける成果は

村長 国が示す目標値は達成できた



竹野園 磨 議員

Q 村長は就任以来福祉の村づくりを標榜してきた。まず、村長の言う障害者福祉とは何か所見を聞きたい。

A 村長 障害を持つ人々に対し自立を支援するサービス、具体的には日常生活や社会生活のあらゆる面に係わる支援と考える。

Q ける「山形村障害者福祉計画及び障害福祉計画」の対象となる障害者数は。

A 村長 身体障害者が3百86人、知的障害者78人、精神障害者60人となっている。

Q 障害者基本法及び障害者自立支援法で平成18年度から6年間の障害福祉計画等の策定が各自自治体に義務付けられた。この成果はどうであったか。

A 村長 障害者施設等からグループホーム、ケアホームなど地域移行が進められ、また「入院中の退院可能精神障害者減少」も国で示す目標値に達した。

Q 山形村の障害者団体の組織がなくなつたと聞いた。ノーマライゼーションの理念を地域社会へ広く浸透させていくためにもこの組織の存在は重要だと思うが、村長の考えは。

A 村長 組織団体が存続を断念した経過がある。自らが立ち上げる行動を起こさない限り行政が支援することはしない。

村民パワーで「ごみ減量化」を

村長 減量目標を設定し3R運動推進



大月 氏夫 議員

Q 現状の「ごみ分別」は適正に行われているか、実状を伺いたい。

A 村長 資源としてリサイクルできる物

が可燃ごみや、埋立ごみで排出されているケースがある。生ごみの「水切り」がまだまだ不徹底等々、尚一層の協力をお願いしたい。

Q 「生ごみ処理容器」の購入補助金は、他市町村に比べ山形村は群を抜いた手厚い助成内容となっているが、活用状況

況は。
A 村長 過去5年間で45台が補助対象として設置されているが、更なる普及を行なっていく。

Q 横浜市では事業者と市民が一体で取り組み、5年間で30%のごみ減量化を成し遂げた。山形村としても減量化気運を高める発信を。

A 村長 区長さん等で構成する「環境整備委員会」の協力を頂きながら、減量目標を設定し、3R運動推進等減量化策を構築していきたい。

億2千万円が見込まれる。村民の意識と行動で歳出削減が可能な手段の一つとして「ごみ減量化」があることを訴えたい。
※3R運動
リデュース(ごみを減らす)
リユース(再利用する)
リサイクル(再資源化する)

その他に、教員住宅の活用向上について質問した。

総合計画で 観光の位置づけは

村長 農業と観光・交流を柱として 活力ある産業の育成を図る



柴橋 潔 議員

Q 山形村総合計画立案の参考となる村民アンケートの回答で観光のかかわる産業分野は関

心が低い結果が出ている。6つの柱のひとつとして村の観光行政を総合計画の中にどのように反映させていくか。

A 村長 「観光・交流の山形づくりプロジェクト」を、重点事業として抽出・設定し、



ゴミステーション

ードする取組を重点的に進める。

本年度のごみ処理に関わる「清掃費」は年間1「観光・交流」をテーマに、交流人口の増加と地域活性化を図るため、清水寺や道祖神をはじめとする多彩な観光・交流資源の一層の活用をはじめ、農業との連携による農業体験や食をテーマとした観光振興施策の推進など、本村ならではの観光・交流機能の強化をリ



清水寺

山形村での健康寿命は

村長 村独自では算出していない



竹野入恒夫 議員

けい少なくしなければなりません。★

健康寿命について

(1) 山形村の平均寿命は。23年度の（男性・女性）

★「健康寿命」とは、健康で自立して介護の世話にならず、暮らすことのできる生涯の期間です。

健康寿命を延ばすには、介護等の期間をできるだけ

(2) 山形村での健康寿命は。23年度の（男性・女性）

(3) 現在作成中の第5次山形村総合計画において、健康寿命を延伸さ

村長 「学校支援地域本部」の
次年度の予算化に向け検討したい
予算化は



大池俊子 議員

Q 「学校支援地域本部」のこれからの発展充実させるための計画

A 教育長 「山形村学校支援地域本部」事業は、「教育活動の応援団」として、今年5月に発足した。およそ百人の地域の皆さんから支援を展開していただいた。今後の拡充計画は、

せるため、どの様に取り組んでいくのか。

村長

(1) 平成17年度の国税調査に基づくと、男性78・8歳、女性85・6歳となっている。

(2) 村独自では算出して

いない。算出方法は、何種類かあるが、小規模な市町村で算出することは、無理がある。

(3) 現在第5次山形村総合計画策定中であるが、健康寿命を延ば

るよう、高血圧や高脂血症が比較的多い地域性も踏まえながら、生



いちいの里（すばる）工事現場

活習慣病の改善に向けた自主的な健康づくり活動を基本に、きめ細かな保健サービス等を図る必要がある。

その他に、空き家対策について質問した。

「学習支援」活動の拡充・強化がある。水曜日放課後の「遊びの時間」「夏休みの寺子屋」「日常の教科学習」などを小学校と連携した中で推進していきたい。

Q 予算化はできないか。

A 教育長 平成24年度は組織化の初年度であり、ゼロ予算で活動してきた。今までの活動

の中で必要となるものも明らかになってきたので、公費負担すべき性格のものが見極め、次年度の予算化に向け検討していきたい。

その他に、教育住宅の空き室対策について・正規給食調理員の採用を・山形村の農業と観光をどう展望するかについて質問した。

村の今年の鳥獣被害の状況は

村長 一般家庭にも被害が広がっている



神通川清一 議員

域鳥獣被害防止総合対策協議会に山形村だけが加入していないがなぜか。

A 村長 この事業はJ Aが国の補助を受けて、広域で連携して被害防止を図っている。村も国庫補助を受けて、この協議会に速やかに加入して、その対策を進める。

Q 今年も山際の水田、畑では、熊やイノシシ、サル、カラス等の被害が依然として多いが状況は。

A 村長 特にサルが集落に降りて来て、

Q 猟友会員が高齢化で人数が減っているが、対策は。

自家用野菜に被害が多くなった。カラス、ハトの被害も、東原等で多くなり、猟友会の皆様の出勤回数が増加した。その他にハクビシンが民家の屋根裏に住みつき、農家以外の家庭にもその被害が広まり、村中の問題になった。

A 村長 今は18人に、猟銃の厳しい規制と、その費用負担が多い中、危険な業務に携ってもらっている。村民皆様の協力とご理解をお願いしたい。

Q J Aが3市4村で進めている松本広

その他に、人と農地の問題のアンケートについて質問した。



村内の空き家対策は

安全・資産の両面で検討していく



上条浩堂 議員

Q 村内の空き家対策について

A 村長 空き家の中でも建物が倒壊し、若しくは建築材等が飛散させるおそれがあり、又は不特定の者が建物等に侵入して火災や犯罪のおそれのある危険な空き家対策については、今後検討の必要あり。調査、指導、勧告また支援などを含めた法制面からも整備しなくてはならない。空き家の有効利用とともに、安全・資産を生かすという面から検討していくかなければならない。

Q 職員採用試験について

A 村長 新規採用職員の採用試験は、全



空家

職種に教養試験・性格適性検査・面接を、専門職については、専門試験を行なっている。村の将来のためいかに良い人材を確保するかが課題で、自治体も民間企業のように魅力ある職場PRをしなくてはならない。生きがいをもって働ける職場環境整備が、村民のサービス向上につながると考え、採用後の人材育成に力をいれ、信頼される職員の育成に力を注いでいきたい。

子育て支援センターに望むこと



下竹田 越 順 二

6年前に仕事の都合で大阪から転居してきました。山形村に来てから子供が生まれ、現在、子供はやまのこ保育園に通っています（村外出身者にとって新鮮な「わんぱく保育園」です）。新しい園舎にも恵まれ元気に育っています。

こちらの生活は、豊かな自然に囲まれ、新鮮な水や空気や農産物に恵まれ、また、気さくな地元の人たちと触れ合うことができました。私たち夫婦共にランニングが趣味で、よく近所をジョギングしたり、子供を連れて散歩したりするのですが、通りがかりに会った農家の人に野菜や

果物をいただくこともあり、これまでに住んだところと違ったやさしさを感じていきます（みなさん、いつも本当にありがとうございます。ありがとうございます）。
そんな我が家も子供ができてから生活が一変しました。夫婦共に関西出身でお互いの両親も遠く離れているため、急な用事ができたときなど子供のおらず、夫婦でなんとか切り抜けなければなりません。そんな時、頼りになるのは公的な支援にな

私の一言

みなさんと議

家庭ゴミについて



上池 啓 本 木 時

ります。これまで、「たまごの会」、「ちびっこ相談」、「ラビットサロン」、「風の子広場」、「いものこ学級」など、多くのイベントを利用していただき、また、その中でたくさんの方の知り合いができたことも非常に助かりました。

山形村は県内でも有数の人口増加地域です。これからも村外からたくさん転居される方が来られると思います。行政には、公的支援は単なる子育ての支えというだけでなく、地域のコミュニケーションの場にもなることを期待しています。

年末もせまった12月26日、上大池コミュニティセンター横のゴミステーションで、家庭から出す可燃ゴミの状況を見ました。
5連絡班で約百軒の家庭が利用していますが、この日は水曜日ということもあり、普段は出す量が少ないですがクリスマスや

年末の掃除などで家庭ゴミが多いのではとの思いもありました。
約75袋出されていたうち、分別は良いと思いましたが、「記名なし」が20袋余りありました。扉に「必ず記名して出して下さい」と大きく書かれていたが見えないのではないかと思われる。村内には分別別に回収場所が「72カ所」と聞いていますが、毎日の生活から出る家庭ゴミの回収環境にもっと村民の関心が寄せられることを願います。

区長時代の思い出

思い起せば平成14年の2月の早朝でした。区の三役の方々が来て「聞いてこいと言われたで聞くだが、勝ちや議会へ出るかい、どうするだい」と突然言われ、私は即座に大変お世話になったがやめるつもりでいるとお答えしたのが区長になる運命的な言葉となりました。

スタートして先区の懸案となっていた公会堂建設問題でした。幸いにも前区長さんが評議員でこられ、特に一緒にお骨折り下さり4人で進行できたことを感謝しています。

区民の皆様より今の時代自動車30台位の駐車場の希望が強く第一条件でした。現地見性寺さんよりの借地検討、隣地買収検討も失敗に終り、やむをえず締め消防の詰所を残すことになり残念でした。

区出身の役場二課長さんに相談すると小坂区方式で公園地へ建て公園の土地を購入することを決定し隣接のブドウ園の地主さんにお願ひし代替地を用意し何回も頼み無事購

入できました。設計図もできましたが県産材使用での補助事業の話がうまくいかず建設は次の区長さんにお願ひして任期を終りとなりました。

その頃合併問題の話題が沸騰しており松本へ勤務の皆さんは賛成者が多く、市から嫁いでこられた方々は実家も良く言わないし、私も反対だの意見が特に印象的でした。何回もの検討会でだされた事、私も総合して合併しても市の西山の端は変らないし山形村らしさで維持できれば行ける所まで行くべきの信念が今も良かったと思っています。他にまだ沢山ありますがこの都度良きにつけ、悪きにつけ御協力下さった皆様に感謝し思い出とします。



塩原勝正 (上竹田)

旬の味

21世紀に入り早くも13年目を迎えた。

今世紀は果たして節度と抑制の効いた時代になるだろうか。

13年前にある学者が激動の20世紀を振り返り、新世紀を展望した文章が印象深く記憶にあるのでその抜粋をここに掲げてみたい。

「人類は時々立ち止まるのが良い。たまにはゆっくりと休憩する必要がある。そうすればそれだけ人類史上の終わりも遅くなる。上の階に行く途中に踊り場があればそこで一息つくことができる。昇ってきたところを振り返り、これから昇るところを見定める。反省することも考え直すこともできる。急いで一気に駆け上がるとうるくなことはない。この勢いを更に強めて突っ走ればどう考えても人類はあと数百年も持たず息切れしてしまう。」

21世紀こそ人類にとつての踊り場にしなければならぬ。」

竹野園磨

議会日誌

▲9月▼	2日	山形村地震総合防災訓練(村内)	16日	議会福祉文教常任委員会(役場)
	4日	議会運営委員会(役場)	18日	議会総務産業常任委員会(役場)
	10日	第3回山形村議会定例会開会(役場)	18日	議会総務産業常任委員会(松本市)
	11日	議会全員協議会(役場)	25日	富山県方面 山形視察(村内)
	12日	議会一般質問(役場)	28日	道祖神と新そば祭り (ミラ・フード館)
	13日	山形村敬老会(いちいの里)	▲11月▼	
	18日	議会総務産業常任委員会(役場)	12日	議会全員協議会(役場)
	19日	議会福祉文教常任委員会(役場)	16日	松本市・山形村・朝日中学校組合議会11月定例会(朝日村)
	21日	第3回山形村議会定例会閉会(役場)	20日	山形村3団体懇談会 (JA・農業委員、議会)
	22日	山形小学校運動会(小学校)	21日	議会総務産業常任委員会(役場)
	26日	山形保育園運動会(保育園)	21日	議会福祉文教常任委員会 会行政視察(東京都、山梨県方面)
	27日	議会総務産業常任委員会(役場)	27日	議会運営委員会(役場)
▲10月▼	12日	議会総務産業常任委員会(役場)	28日	東筑摩郡村議会議員交流会(麻績村)
	30日	区三役・議会議員研修会(ミラ・フード館)		

お話し

議会だより102号の8ページ、認知症サポーター養成講座を議員が学ぶの記事の3行目にて誤りがありました。講師は社協の南沢職員となっておりますが、正しくは保健福祉課南沢主事(社会福祉士)です。訂正してお詫び申し上げます。